



新しい治療方法も

## アレルギー性鼻炎

スギとヒノキによる花粉症の季節は、府内では2月下旬～5月上旬頃です。

花粉症は、花粉を原因とするアレルギー性鼻炎の一種です。アレルギーの原因は季節ごとに異なり、春はスギやヒノキ、夏はイネ科植物、秋はブタクサ、ヨモギなどさまざまです。

戦後にスギの植林が広く行われたことや地球温暖化の影響によるスギ花粉の飛散量の増加に伴い花粉症になる人も増加しています。スギ花粉症だけで国内の約25%、花粉症全体では30%近くの人が該当します。

症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまりです。鼻の中の観察や、これまでの症状の出方で診断します。アレルギーの原因を特定するためには血液検査などが必要です。治療で一番大事なことは原因を遠ざけることです。花粉情報に注意し、不要な外出を控え、マスクや眼鏡などを使い、花粉の侵入を



防ぎましょう。病院では飲み薬や点鼻薬を処方します。また、レーザーなどで鼻の粘膜を変性させる治療方法もあります。

最近注目されているのが、舌下免疫療法です。医療用スギ花粉エキスを口に含んで体内に取り込み、体質自体を改善する治療方法です。保険適用されていませんが、70～80%の人は症状が軽くなり、薬を使う量を減らすことができます。従来の注射による免疫療法と比べ痛みもなく、通院の回数も減り、副作用も少ない利点があります。ただ、治療期間は長く3～5年の継続が必要です。

治療方法は専門医に相談し、適切な治療を受けましょう。